

第3回 臨床研究プロトコールワークショップ

(NCNP臨床研究実践講座ワークショップ)

本ワークショップは、プロトコール作成のポイントを理解し、スキル習得を目指し、小グループによる演習やピアレビューを取り入れた双方向性学習により構成されます。

質の高いプロトコールは、臨床研究の適切な実施、報告、外部のレビューを容易にします。臨床研究の透明性と説明責任を確保するためには、試験開始前に質の高いプロトコールを作成しておくことが必須となります。本ワークショップでは、Standard Protocol Items: Recommendations for Interventional Trials (SPIRIT) にもとづき、プロトコール骨子をグループで完成させることを目指します。

日時 2018年10月20日(土) 9:00~18:00 (開場8:45~)

会場 慶應義塾大学信濃町キャンパス 第2校舎4F 講堂

対象 研究者・医療職の方 定員 35名

受講料 慶應義塾・NCNPに所属の方：8,640円
医療機関・教育機関・行政機関の方：16,200円
企業の方：21,600円

共催 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
トランスレーショナル・メディカルセンター



Course Organizers

中川敦夫

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター 教育研修部門長・特任講師

佐藤泰憲

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室・准教授
同大学病院臨床研究推進センター 生物統計部門長

松嶋由紀子

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター 臨床研究支援部門モニタリングユニット・特任講師

東健太郎

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター 臨床研究支援部門企画運営ユニット・特任助教

菅原典夫

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター情報管理・解析部 臨床研究計画・解析室長

立森久照

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター情報管理・解析部 生物統計解析室長

その他ファシリテーター

ワークショップ内容

臨床試験のプロトコール骨子を作る

- ・デザイン (sample sizeを考える)
- ・試験の質の管理 (モニタリング計画)
- ・試験の円滑実施 (プロジェクト・マネジメント)
- ・利益相反マネジメント (COI)

※グループ演習では、各参加者が持ち寄った研究疑問(PICO)の中から、グループで1つの研究テーマを決め、そのテーマに沿ったプロトコール骨子の作成を目標とします。

お申込み

「臨床研究講習会受講管理システム」Webサイトよりお申込み下さい。

URL→ <https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>

お申込みサイトは
左のQRコードから



お問合せ

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 教育研修事務局
Mail : keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp